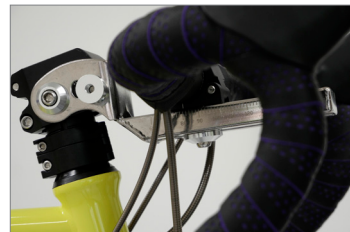


【なかなか試せない大事な寸法】

自転車にはいろんな部分に「寸法 = サイズ」に基づいた製品設計がなされていますが、こと身体に関係する箇所の寸法は大変重要であり、まずは自分に合ったフレームサイズの自転車を選ぶ必要があります。そんな重要な寸法の中でもとても大事なのに実際にはなかなか実走で試せないところを何とかしようと考えた製品をご紹介します。



▶ライダーのパワーをペダルを介して伝えるチェーンホイール。そのクランク長が大事なことは Vol.9 の Dixna「ラ・クランク」でも少し触れていますが、何種類ものクランク長を実走行で試すことはなかなかできない現状を何とかしようと、「ラ・クランク」を製造している工場と出来るだけ容易に試せるようにと作ったのがラ・クランクをベースにしたクランク長可変式モデル。140mm~160mm までと 162.5mm~172.5mm まで設定可能な2つのクランク（非売品）で、世の中に各2セットしか存在しない貴重品です。



両サイドのパーツをペダルで挟み込んでセット



長短で2サイズ域をカバーします

▶自転車の操舵に大きく影響するフロントフォークのオフセット寸法。操舵に影響する値として「トレイル」があり、Vol.3 の JFF フレーム開発の章や、Vol.14 のフロントフォークでの章で説明しています。ただ、こちらも何種類ものオフセットを実走行で試すことは難しい。そこで弊社のカーボンフォークを製造している工場とあれやこれやと設計してようやく出来上がったのが OnebyESU「OBS-R11 TEST オフセットテストフォーク」。43~53mm まで全5種類のオフセットを簡単に変えることができるテストライド用のフォークです。



アルミのワッシャーによってオフセットを可変させます



ベースのモデルは、「OBS-R11」フルカーボンモデル

▶ハンドル周りのステムは高さや角度や突き出しなど寸法が複雑です。こちらもなかなか実走で多種試せるものが無く、弊社オリジナル製品を数多く製造してくれている工場が作ったものが grunge「ステムスケールツール」。ヘッドサイズは 1-1/8" のみですが、角度や突き出しなどほぼ全てのサイズ域に対してセッティングが可能という画期的なもの。軽い実走にも耐えられるようにアルミとステンレスで頑丈に作られています。



基本角度をサイドビューで設定



後方で細かな+の角度を表示

▷身体的能力を数字で表すことの意味も大事なのでしょうが、まずは身体エンジンを有効に使用するための機材寸法を知ること大切。しかしなかなか試せないもの。今回紹介したような可変モノを作ることと試せる機会を設けることの大切さを感じています。

突き出しは
60~150mm まで
可能

SAN-ESU BASE

羽根倉通り

今夏オープン予定の「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」は、現在着々と準備中です。